

**留学先国名** : アメリカ

**留学先学校名** : De Anza College

**留学期間** : 平成 27 年 7 月 19 日 ~ 平成 29 年 8 月 25 日(予定)

ディアンザカレッジのあるカリフォルニア州クパチーノは比較的治安が良く、安全です。また、様々な人種の人達があり、まさに人種のるつぼだと感じています。

一学期目はまだ右も左もわからず、生活リズムもうまく掴めず、二クラスしか受講しませんでした。そのうちの二クラスは映画学入門で、自分がずっと勉強したかったことを勉強できている幸せを噛みしめながら毎週授業を受けていました。それと同時に、英語力の乏しさが原因で 100%授業を理解できないことがとても悔しかったのを覚えています。先学期には初めて実践的な映像制作のクラスを受講しました。それまでずっと憧れていたものの実際に映像を制作したことはなかったので、楽しみな反面、今までやりたかったことが自分に向いていなかったらどうしようという不安がありました。ですが、このクラスは今までで一番楽しく、たくさんのお話を学べ、将来は映像制作に携わって生きていきたい！と再確認できたものでした。課題として二本のショートフィルムを制作したのですが、制作中は楽しい気持ちと同時にしんどい思いをしたり、ストレスを感じたり、焦ったりと色々なネガティブな感情がありました。完成後に授業でクラスメート全員と教授に発表するときにはこれまでに経験したことがないくらいの緊張と不安に襲われました。ですが、鑑賞後にポジティブな感想やフィードバックをもらった時には本当に嬉しく、それまでのストレスやネガティブな感情が一気に吹っ飛びました。特に二本目のショートフィルムに関しては、私が伝えたかったメッセージがクラスメートに伝わり、カメラワークや編集などの技術についての議論ではなく、映画の内容から発展した議論になり、今までで一番幸せだと感じました。また、授業以外のことにも挑戦してみようと思い、大学内で行われた環境問題に関する絵画ポスターのコンテストに応募したところ、一番に選ばれました。

今学期は一般科目として数学と哲学、専攻科目として映像編集と電子メディア入門、それから技術や映像業界についてももう少し深く学べる特別コースを受講する予定です。まだ新学期が始まったばかりですが、二年目に入り、映像制作を一年目に比べてさらに深く学べるということで、とても楽しみです。残り一年を後悔しないように、また自分がしたい勉強をさせていただいているという感謝の気持ちを忘れずに努力します。